【外来後発医薬品使用体制加算】

当院は、後発医薬品使用体制加算を算定し、後発医薬品の使用促進を図るとともに、医薬品の安定供給に向けた取り組みなどを実施しています。

現在、一部の医薬品について十分な供給が難しい状況が続いています。

当院では、医薬品の供給不足等が発生した場合に、治療計画等の見直し等、適切な対応ができる体制を整備しております。

なお、状況によっては、患者さんへ投与する薬剤が変更となる可能性がございます。変更にあたって、ご不明な点やご心配なことなどがありましたら当院職員までご相談ください。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【コンタクトレンズ診療費について】

・初診料及び再診料

コンタクトレンズの装用を目的としている方で、当院に始めて受診した方は初診料291点を、過去に当院でコンタクトレンズ検査料を算定したことある方は再診料75点を算定します。

・コンタクトレンズ検査料1

コンタクトレンズの装用を目的に眼科検査を行った場合は、200点を算定いたします。

※厚生労働省が定める疾病等によっては、上記のコンタクトレンズ検査料ではなく、

眼科学的に検査料で算定する場合があります。

※上記についてご不明な点はこちらでご相談ください。

診療医師名：江原 謙輔 （眼科診療経験 2009年から眼科診療）

診療医師名：永井 和樹 （眼科診療経験 2011年から眼科診療）

【医療情報取得加算】

当院は、マイナ保険証の利用や問診票を通じて患者様の診療情報を取得・活用することにより、質の高い医療の提供に努めている医療機関です。

国が定めた診療報酬算定要件に従い、下記表のとおり診療報酬点数をお算定いたします。

区分	マイナ保険証利用	点数
初診	する	1点
	しない	3点
再診 (3ヶ月に1回)	する	1点
	しない	2点

【明細書発行体制加算】

当院では、医療の透明化や患者への情報提供を積極的に推進していく観点から領収証の発行の際に、個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書（外来・入院医療費明細書）を無料で発行することとしております。明細書には使用した薬剤の名称や行われた検査の名称が記載されておりますのでその点をご理解いただき、明細書の発行を希望されない方は、会計窓口にてその旨をお申し出ください。

【診療所の入院基本料】

当診療所には、看護職員5名以上（内看護師4人）看護補助者2名以上勤務しています。夜間に緊急の対応が必要となった場合、次の医師で対応します。

院長 江原 謙輔

【一般名処方加算】

当院では、後発医薬品の使用促進を図るとともに、医薬品の安定供給に向けた取り組みを実施します。後発医薬品のある医薬品について、特定の医薬品を指定するのではなく、薬剤の成分をもとにした一般名処方（※一般的な名称により処方箋を発行すること）を行う場合があります。

一般処方によって特定の医薬品の供給が不足した場合であっても、患者様に必要な医薬品が提供がしやくなります。

※一般名称とは

お薬の「商品名」ではなく、「有効成分」を処方箋に記載することです。そうすることで、供給不足のお薬であっても有効成分が同じ複数のお薬が選択でき、患者様に必要お薬が提供しやくなります。

【バイオ後続品使用体制加算】

バイオ後続品（バイオシミラー）の使用促進について

当院では、バイオ後続品を積極的に採用しています。バイオ後続品はバイオ医薬品と品質がほとんど同じで、同じ効果と安全性が確認された薬剤です。

（例：テリパラチドBS、インフリキシマブBS）

バイオ後続品を使用することによって、患者さんの薬にかかる経済的負担が軽くなります。

当院ではバイオ後続品を使用することがありますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。ご不明な点がございましたら、主治医または薬剤師にご相談ください。

【在宅医療DX推進体制加算】

○当院では、医師が診察実施する診察室において、オンライン資格確認システムにより取得した診療情報等を活用して診療を実施いたします。

○医療DXを通して質の高い医療を提供できるように、マイナ保険証の推進に取り組んでおります

○電子処方箋や電子カルテ情報共有サービスなどの医療DXに係る取り組みを推進いたします。尚、これらの取り組みについては、今後計画的に進めてまいります。